

シラバス

平成25年度

1年次

医療プロフェッ
シヨナリズム I

基礎医学生命科学
特論・研究コース

千葉大学医学部

目 次

コンピテンシー達成レベル表	1
科目評価アンケートについて	5
医療プロフェッショナリズム I	
導入PBLチュートリアルユニット	9
チーム医療 I (IPE I) ユニット	13
基礎医学生命科学特論・研究コース	
スカラーシップ・ベーシックプログラム	21
6年一貫医学英語プログラム	25
1年次スケジュール	35

コンピテンシー達成レベル表

レベル(達成度)	Advanced	Applied	Basic			
I. 倫理観とプロフェッショナリズム						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理感を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。	診療の場で医師としての態度・価値感を示せることが単位認定の要件である	医師としての態度・価値感を模擬的に示せることが単位認定の要件である	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない
II. コミュニケーション						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。	診療の一部として実践することが単位認定の要件である	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない
III. 医学および関連領域の知識						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B		D	E	F
医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。	実践の場で問題解決に応用できることが単位認定の要件である	問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である		基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	修得する機会はあるが、単位認定に関係ない	修得する機会がない
IV. 診療の実践						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。	診療の一部として実践できることが単位認定の要件である	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない
V. 疾病予防と健康増進						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、必要に応じてその改善に努めることができる。	実践できることが単位認定の要件である	検証と改善計画立案のことができることが単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない
VI. 科学的探究						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。	実践できることが単位認定の要件である	研究計画の立案、研究の見学、参加が単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない	経験する機会がない

学年		1				
コース・ユニット名		医療プロ フェッショ ナリズムI チ ユ ー ト リ ア ル 入 導	医療プロ フェッショ ナリズムI チ ー ム 医 療 I	基礎専門 科目 (数学, 物 理学, 化 学実験な ど)	基礎医学 生命科学 特論・研究 ベ ー シ ッ ク ス カ ラ ー シ ッ プ ・	普遍教育 科目 (英語, 情 報リテラ シー, 教 養科目な ど)
I. 倫理観とプロフェッショナリズム						
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理感を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。						
1	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C	E	F	D	C/D
2	法的責任・規範を遵守する。	C	C	F	E	C/D
3	他者の尊厳を尊重し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。	C	C	F	F	C/D
4	患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化、社会背景に関心を払い、その立場を尊重する。	C	C	F	F	C/D
5	常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。	C	C	F	C	C/D
6	専門職連携を実践できる。	C	C	F	C	C/D
7	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。	C	C	E	C	C/D
8	同僚、後輩に対する指導、助言ができる。	C	C	F	E	C/D
II. コミュニケーション						
千葉大学医学部学生は、卒業時に 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。						
1	患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。	C	C	F	E	C/D
2	患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報収集・伝達、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。	C	C	F	E	C/D
3	英語により医学・医療における情報を入手し、発信できる。	E	E	F	C/D	C/D
III. 医学及び関連領域の知識						
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。						
1	正常な構造と機能	E	E	D	E	D
2	発達、成長、加齢、死	E	E	D	E	D
3	心理、行動	E	E	F	E	D

学年		1				
コース・ユニット名		医療プロ フェッショ ナリズムI チ ュ ー ト リ ア ル 入 導	医療プロ フェッショ ナリズムI チ ー ム 医 療 I	基礎専門 科目 (数学, 物 理学, 化 学実験な ど)	基礎医学 生命科学 特論・研究 ベ ー シ ッ ク ス カ ラ ー シ ッ プ ・	普遍教育 科目 (英語, 情 報リテラ シー, 教 養科目な ど)
4	病因, 構造と機能の異常	E	E	F	E	D
5	診断, 治療	E	E	D	E	D
6	医療安全	E	D	D	E	D
7	疫学, 予防	E	E	F	E	D
8	保健・医療・福祉制度	E	D	F	E	D
9	医療経済	E	E	F	E	D
IV. 診療の実践						
千葉大学医学部学生は, 卒業時に 患者に対して思いやりと敬意を示し, 患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。						
1	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。	E	E	F	F	C/D
2	成人及び小児の身体診察と基本的臨床手技を適切に実施できる。	E	E	F	F	C/D
3	臨床推論により疾患を診断できる。	E	E	F	F	C/D
4	頻度の高い疾患の診断と治療に必要な検査を選択し, 結果を解釈できる。	E	E	D	F	C/D
5	頻度の高い疾患の適切な治療計画を立てられる。	E	E	D	F	C/D
6	医療文書を適切に作成し, プレゼンテーションできる。	C	C	E	D	C/D
7	Evidence-based medicine (EBM) を活用し, 安全な医療を実施できる。	E	C	F	F	C/D
8	病状説明・患者教育に参加できる。	E	E	F	F	C/D
9	診断・治療・全身管理に参加できる。	E	E	F	F	C/D
V. 疾病予防と健康増進						
千葉大学医学部学生は, 卒業時に 保健・医療・福祉の資源を把握・活用し, 必要に応じてその改善に努めることができる。						
1	保健・医療・福祉に必要な人材・施設を理解し, それらとの連携ができる。	E	D	F	F	D
2	健康・福祉に関する問題を評価でき, 疾病予防・健康増進の活動に参加できる。	E	E	F	F	D
3	地域医療に参加しプライマリケアを実践できる。	E	E	F	F	D
4	医療の評価・検証とそれに基づく改善に努めることができる。	E	E	F	E	D

学年		1				
コース・ユニット名	医療プロ フェッショ ナリズムI チ ュ ー ト リ ア ル 入	医療プロ フェッショ ナリズムI チ ー ム 医 療 I	基礎専門 科目 (数学, 物 理学, 化 学実験な ど)	基礎医学 生命科学 特論・研究 ベ ー シ ッ ク ス カ ラ ー シ ッ プ ・	普遍教育 科目 (英語, 情 報リテラ シー, 教 養科目な ど)	
VI. 科学的探究						
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。						
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。	E	C	E	D	C/D
2	科学的研究で明らかになった新しい知見・高度先進医療を説明できる。	E	E	E	D	C/D
3	未知・未解決の臨床的あるいは科学的問題を発見し、解決に取り組むことができる。	E	E	E	E	C/D

科目評価アンケートについて

各科目の授業終了後に Moodle を利用して科目評価アンケートをして下さい。これは、来年度の当該科目の改善・発展のための資料となりますので、必ず記入・提出して下さい。このような評価を通してカリキュラムの改善に貢献することは、卒業コンピテンシー（V. 疾病予防と健康増進 4. 医療の評価・検証とそれに基づく改善に努めることができる。）に対応しますので、学習の一部になっていることを銘記して下さい。

医療プロフェッショナリズム I

I 科目(コース)名	医療プロフェッショナリズム I		
II コースの概要 並びに学習目標	患者・家族, 医療チーム, 社会との関係における医師のプロフェッショナリズムについて理解し, 実践していくための入学から卒業時まで継続するプログラムの最初の段階である。少人数によるグループ学習, 他学部学生との協働による学内・外施設での体験・振り返りを通してプロフェッショナリズムの構成要素である共感的コミュニケーション, 自律的学習, 責任ある行動を修得することを目標とする。		
III 科目(コース)責任者	田 邊 政 裕		
IV 対 象 学 年	1 年		
V 構 成 ユ ニ ッ ト	ユ ニ ッ ト	ユ ニ ッ ト 責 任 者	時 期
	導入PBLチュートリアル	伊 藤 彰 一	前期
	チーム医療 I (IPE I)	朝比奈 真由美	前期

導入PBLチュートリアルユニット

- 1) ユニット名 導入PBLチュートリアルユニット
- 2) ユニット責任者 伊藤 彰一
- 3) ユニット期間 前期
- 4) ユニット担当教員一覧…医学部moodleを参照してください。
- 5) ユニットの概要

様々な事象について少人数によるグループ学習を通して、自らを振り返り、医師になるための自律的学習能力、問題解決能力、コミュニケーション能力を身に付ける。

6) ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

医師になるために必要なプロフェッショナリズム，コミュニケーション能力を身に付ける。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム		科目達成レベル (導入チュートリアル)
I. 倫理観とプロフェッショナリズム		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理感を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。		
1	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 1. 呈示されたシナリオに内包される倫理的問題を理解する。	C 基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である
2	法的責任・規範を遵守する。 2. ルールを守る。	
3	他者の尊厳を尊重し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。 3. メンバー、チュータに対して利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。	
4	患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化、社会背景に関心を払い、その立場を尊重する。 4. メンバーの心理や背景に関心を払い、その立場を尊重する。	
5	常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。 5. 自己の能力を評価し、自分の知識、発言に責任を持つことが出来る。	
7	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 6. 自らのキャリア・デザインや、自己主導型学習が自己の向上に重要であることを理解する。	
8	同僚、後輩に対する指導、助言ができる。 7. 同僚に対する助言が出来る。	

学習アウトカム		科目達成レベル (導入チュートリアル)
II. コミュニケーション		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。		
1	患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。 8. チームメンバー、チュータと傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。	C 基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
2	患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報収集・伝達、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。 9. チームメンバー、チュータと信頼関係を築き、情報収集・伝達を実践できる。	
IV. 診療の実践		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。		
6	医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。 10. 説明資料やレポートを適切に作成し、プレゼンテーションできる。	C 基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である

7) 授業スケジュール

P.11参照

8) 評価法

チュータによる観察記録 (40%)、レポート (30%)、ポートフォリオ (20%)、発表 (各グループで取組んだテーマについてまとめ、発表する) (10%)

プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合、その内容、程度により評価が減点される。

・授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授 業 種 別	授 業 内 容	授 業 内 容 の key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
1 } 2	4月10日(水)	I ・ II	医学部講義 室他	伊藤 岡田	講義	オリエンテーション	キャリア	
3 } 4	4月17日(水)	I ・ II	医学部講義 室他	伊藤 岡田	講義, 演習	模擬チュートリアル	模擬チュートリアル	
5 } 6	4月17日(水)	III ・ IV	IT室	伊勢川	講義	情報ガイダンス	ICT	
7 } 8	4月24日(水)	I ・ II	IT室	伊勢川 前田	講義	情報ガイダンス, eポートフォリオ使 い方, レポート作成, プレゼンテーション法	ICT	eポートフォリ オ作成
9 } 10	5月1日(水)	I ・ II	図書館	担当教員	講義, 演習	図書館利用法, IT を利用した情報収集	情報収集, IT, 図書館	
11 } 12	5月8日(水)	I ・ II	チュートリ アル室	チュータ	演習	チュートリアル	未定	テーマについて の学習
13 } 14	5月15日(水)	I ・ II	チュートリ アル室	チュータ	演習	チュートリアル	未定	テーマについて の学習
15 } 16	5月22日(水)	I ・ II	チュートリ アル室	チュータ	演習	チュートリアル	未定	テーマについて の学習, まとめ (発表準備)
17 } 18	5月29日(水)	I ・ II	薬学部記念 講堂	伊藤	講義, 演習	まとめ(チュートリ アルの振り返り) プロフェッショナル リズム・ワークショッ プ, グループ別発表	振り返り, 長所, 短所・弱点, ア ンプロフェッ ショナルな行 為	レポート, ポー トフォリオ作成, 発表準備

チーム医療 I (IPE I) ユニット

- 1) ユニット名 チーム医療 I (IPE I)
- 2) ユニット責任者 朝比奈 真由美
- 3) ユニット期間 前期
- 4) ユニット担当教員一覧…医学部 moodle を参照してください。
- 5) ユニットの概要

医学, 看護, 薬学部の学生がともに互いに対等なグループの一員として学習することにより, 将来のチーム医療の実践に必要な能力を修得する Interprofessional Education (IPE) の第一ステップの授業である。

6) ユニットのゴール, 学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

患者, サービス利用者および他の専門職課程の学生とのコミュニケーション能力。

Step 1 の終了時, 学生は以下のことができる。

1. 患者およびサービス利用者を理解する。
2. 患者-学生関係の構築に必要な基本的なコミュニケーション・スキルを実践する。
3. 専門職課程の学生間で相互に尊重し合う。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム		科目達成レベル (チーム医療 I (IPE I))	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は, 卒業時に 患者とその関係者, 医療チームのメンバーを尊重し, 責任をもって医療を実践するための態度, 倫理感を有して行動できる。そのために, 医師としての自己を評価し, 生涯にわたり向上を図ることができる。			
<医師としての考え, 態度>			
2	法的責任・規範を遵守する。 ・グランド・ルールを守る	C	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である
3	他者の尊厳を尊重し, 利他的, 共感的, 誠実, 正直に対応できる。 ・チームメンバー, 教員に対して利他的, 共感的, 誠実, 正直に対応できる。	C	
4	患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化, 社会背景に関心を払い, その立場を尊重する。 ・患者の心理・社会的要因と異文化, 社会背景に関心を払い, その立場を尊重する。	C	
5	常に自己を評価・管理し, 自分の知識, 技能, 行動に責任を持つことができる。 ・責任ある行動がとれる。	C	
6	専門職連携を実践できる。 ・お互いから学び合うことができる。 ・チームの一員として有効な活動ができる。	C	
7	自らのキャリアをデザインし, 自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 ・学生としての自己目標を設定できる。 ・自己評価ができる。	C	

学習アウトカム		科目達成レベル (チーム医療 I (IPE I))	
8	同僚、後輩に対する指導、助言ができる。 ・お互いから学び合うことができる。	C	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。			
1	患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。 ・患者・チームメンバーと傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。	C	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
2	患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報収集・伝達、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。 ・患者・チームメンバーと信頼関係を構築できる。	C	
III. 医学および関連領域の知識			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。			
6	医療安全 ・医療安全について理解する。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
8	保健・医療・福祉制度 ・保健・医療・福祉制度を理解する。	D	
IV. 診療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。			
6	医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。 ・リフレクションシートを記載し、レポートを作成できる。	C	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
7	Evidence-based medicine (EBM) を活用し、安全な医療を実施できる。 ・明確な根拠に基づいたレポートを作成できる。	C	
V. 疾病予防と健康増進			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、必要に応じてその改善に努めることができる。			
1	保健・医療・福祉に必要な人材・施設を理解し、それらとの連携ができる。 ・各種の医療専門職を理解する。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
VI. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 ・科学的情報を収集する方法を理解する。 ・明確な根拠に基づいた考察ができる。	C	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である

7) 授業スケジュール

P.16～17参照

8) 評 価 法

グループ（ユニット）討議への参加（観察記録）（20%），自己評価表・グループ（ユニット）評価表の提出状況および授業の記録・リフレクションシートの内容（30%），ユニット発表の内容（20%），最終レポートの内容（30%）

プロフェッショナリズムに反する行為があった場合，その内容，程度により評価が減点される。

・授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題 (予習, 自習課題)
1 ・ 2 ・ 3	4月10日(水)	Ⅲ Ⅴ	病院第1講 堂, 病院シ ミュレーショ ンセンター	織田, 渡邊, 他	講義・実習 (医学部)	講義 救急蘇生実習*	Basic Life Support BSL	
4	4月17日(水)	Ⅴ Ⅵ	病院シミュ レーション センター	織田, 渡邊, 他	実習 (医学部)	救急蘇生実習*	Basic Life Support BSL	自己評価・ 授業の 内容・リフレ クション
5 ・ 6	4月24日(水)	Ⅲ Ⅳ	薬学部記念 講堂	IPE担当教 員	講義 (Shared learning)	IPEの意義, 学 習目標, 学習の 進め方, 個人情報 保護, 感染症 対策	IPE, グラン ドルール, リ フレクション	自己評価・ 授業の 内容・リフレ クション
7 ・ 8	5月1日(水)	Ⅲ Ⅳ	医学部, 看 護学部他	IPE担当教 員	演習 (Mix group)	医療の歴史GW コミュニケーション ワークショップ		自己評価・ 授業の 内容・リフレ クション
9 ・ 10	5月8日(水)	Ⅲ Ⅳ	医学部, 薬 学部, 看護 学部他		講義 (Shared learning) 演習 (Mix group)	当事者体験 医療の歴史		自己評価・ 授業の 内容・リフレ クション
11 ・ 12	5月15日(水)	Ⅲ Ⅳ	医学部, 看 護学部他		実習 (Mix group)	ふれあい体験実 習オリエンテー ション		自己評価・ 授業の 内容・リフレ クション
13 ・ 14 ・ 15	5月22日(水)	Ⅲ Ⅳ Ⅴ	附属病院, 協力病院	IPE担当教 員, 実習病 院協力職員	実習 (Mix group)	ふれあい体験実 習①**		自己評価・ 授業の 内容・リフレ クション
16 ・ 17 ・ 18	5月29日(水)	Ⅲ Ⅳ Ⅴ	附属病院, 協力病院	IPE担当教 員, 実習病 院協力職員	演習 (Mix group)	ふれあい体験実 習②**		自己評価・ 授業の 内容・リフレ クション
19 ・ 20	6月5日(水)	Ⅲ Ⅳ	医学部, 看護学部	IPE担当教 員	演習 (Mix group)	ふれあい体験実 習ふりかえり		自己評価・ 授業の 内容・リフレ クション
21 ・ 22	6月12日(水)	Ⅲ Ⅳ	医学部, 看護学部	IPE担当教 員	実習 (Mix group)	グループワーク 発表準備		自己評価・ 授業の 内容・リフレ クション

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題 (予習, 自習課題)
23 ・ 24	6月19日(水)	Ⅲ ・ Ⅳ	薬学部記念 講堂	IPE担当教 員	演習 (Unit)	学習発表会		自己評価・ 授業の内 容・リフレ クション

* 救急蘇生実習は医学部学生のみが受講する。全体説明とグループ実習で実施する。

** 5/22 と 5/29 に体験実習①と②を行う。

実習のない日は自己学習を行う。

患者とのふれあい体験実習・・・各学部学生で構成された小グループで病院の患者との面接を行う。

基礎医学生命科学特論・研究コース

- I 科目(コース)名 基礎医学生命科学特論・研究
- II コースの概要
並びに学習目標 医学の基盤となる生命科学の方法論を十分に修得し、その後の臨床医学の学習および独創的な発想による独自の専門領域研究を開拓するために、基礎医学系および臨床医学系各種研究領域の先端的または応用的研究に触れると共に、それらの実験科学を自ら体得する事によって、生命科学における科学的思考法を身につけ学問体系構築の道筋を理解する。
- III 科目(コース)責任者 白 澤 浩
- IV 対 象 学 年 1年次～6年次
- V 構 成 ユ ニ ッ ト
- | ユニット | ユニット責任者 | 時期 |
|--------------|---------|----|
| スカラーシッププログラム | 白 澤 浩 | 通年 |
| | 坂 本 明 美 | |
| | 中 山 俊 憲 | |

スカラシップ・ベーシックプログラム

- 1) ユニット名 スカラシッププログラム
- 2) ユニット責任者 白澤 浩, 坂本 明美, 中山 俊憲
- 3) ユニット担当教員一覧…医学部moodleを参照すること。
- 4) ユニットの概要

本ユニットでは、医学、医療の発展のために必要となる、さらに高い学識的な思考と研究開発のための知識、技術、倫理観を、各研究室の研究・抄読会・カンファレンス等への参加（以下、研究への参加）を経験する事により修得する事を目指します。希望する研究室の研究およびBCRC（ちばBasic & Clinical Research Conference）に参加するベーシック（1, 2年次対象, 必修）、3年次の講義「探索的先端治療学」を含むアプライド（必修）、研究発表および論文作成を行うアドバンスト（選択）からなります。

ガイダンス後、研究室を選択し、その指導教員（アカデミックメンター）の指示に従って、研究・抄読会・カンファレンス等に参加します。研究室の選択は変更も可能ですが、研究内容の継続性から原則として半年以上ひとつの研究室に所属することが求められます。

研究への参加に関する指導・相談はメンターがあたります。研究室の変更、中断の相談にはユニット責任者があたります。

アドバンストは、5～6年次を目安としていますが、各自の計画により全年次を通して自由に履修して構いません。

5) ユニットのゴール、学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報の評価、批判的思考ができる。新しい情報を生み出すための論理的思考を倫理原則に従って行うことができる。

・コンピテンスと達成レベル

学習アウトカム		科目達成レベル (スカラシップ・ベーシック)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理感を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。			
1	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 5) 実験室、動物実験、患者に関する研究の倫理的事項を説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
5	常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。 1) チームの一員として他の研究員とコミュニケーションをとり、責任ある行動ができる。	C	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である
6	専門職連携を実践できる 1) チームの一員として他の研究員とコミュニケーションをとり、責任ある行動ができる。	C	
7	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 2) 医学・医療の研究が社会の発展に貢献することを理解し、抄読会、カンファレンス等に積極的に参加できる。	C	

学習アウトカム		科目達成レベル (スカラシップ・ベーシック)	
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。			
3	英語により医学・医療における情報を入手し、発信できる。 3) 臨床的あるいは科学的論文の精読ができる。 4) 医学情報を英語で発信できる。	C/D	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
VI. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 5) 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
2	科学的研究で明らかになった新しい知見・高度先進医療を説明できる。 5) 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	D	

6) 評価法

ポートフォリオ評価 (60%)、パフォーマンス評価 (出席を含む) (40%)

抄読会、カンファレンスへの参加等により作成したポートフォリオを評価する。

評価シート

コンピテンス*	知識	理解	提示**	実践結果の提示
研究の意義	<input type="checkbox"/> Basic (10点)***	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Advanced
結果の意義	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Advanced
材料・方法	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Advanced
背景・目的	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Advanced

*該当する項目全てのコンピテンスが修得された状態の評価を「可」とする。

** Basicでは、レポートもしくはプレゼンテーション。Appliedでは、プレゼンテーション。パフォーマンス評価に用いる。

*** () 内の点数を評価の目安とする。

7) 実施概要と開設教室紹介

実施概要

- 1) 開設教室の抄読会、カンファレンスに参加し、自らも論文の精読、検索を行う。
- 2) 1年次～4年次の間に、各自が興味を持ち遂行したいテーマを提供する研究領域の教員と面談し、許可を得る。
- 3) 配属先の定員を越える希望者がある場合にはGPA等により選抜を行う。
- 4) 適切な範囲内で、研究を行うテーマを変更することが可能であり、複数の領域の教員と相談しながら研究を行っても良い。

- 5) 抄読会・カンファレンス・セミナー・学会等への参加（15時間／年以上）。
- 6) メンターが与えた医学論文の精読（1編以上）。精読した医学論文の研究背景の理解をメンターに提示（レポートもしくはプレゼンテーション）し、パフォーマンス評価を行う。（1回以上／年）
- 7) メンターの指導のもとに、医学情報*のポスター発表（英語）を行う（1年次）。
- 8) メンターの指導のもとに、医学情報の口頭発表（英語）を行う（2年次）。
- 9) BCRCへの参加。

*医学情報は、精読した医学論文以外に、既に実施した実習内容、既修得の医学知識等で構わない。

開設教室紹介

後日、配付予定。

2013年度6年一貫医学英語プログラム

- 目 標 グローバル化対応能力（英語を高いレベルで「読む」「聞く」「話す」「書く」能力）を修得し、英語による医療コミュニケーションを実践できる。
- 方 略 全学生を対象とする6年一貫で順次性のある医学英語能力向上プログラム
- 責 任 者 田 邊 政 裕

1 年 次

普遍教育（教養教育）で一般英語（4～6単位，必修），スカラシップ・ベーシックプログラムの一環として「総合英語コミュニケーションA-1，2」（スカラシップ・ベーシック2単位，必修）を行う。

■ 総合英語コミュニケーションA-1（医学英語論文の読み方Ⅰ）（スカラシップ・ベーシック2単位，必修）

担当教員：押味貴之

- 目 標：① 医学英語論文の種類を区別することができる
② 医学英語論文の基本構造を理解できる
③ 医学英語論文の抄録を批判的に読むことができる

方 略：（6月12日（水）Ⅰ，Ⅱ時限…医学部第一講義室）：

- ① 講義
② 演習（SGD）

評 価：スカラシップ・プログラム・ベーシックにおける各教室での学生のパフォーマンス評価（グローバル・レーティング）

■ 総合英語コミュニケーションA-2

医学英語論文の読み方Ⅰを実践すると共に実生活での英語コミュニケーションに必要な「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に向上させる（スカラシップ・ベーシック2単位，必修）

担当教員：ジェネット・デニソン，山内かづ代

- 目 標：① TOEFLの内容と基準を理解する
② 基本的な生物学，医学の用語を英語で理解する
③ 基本的な生物学，医学の情報を英語で入手しポスター等にて発信できる

方 略：（6月19日（水）（Ⅰ，Ⅱ時限）（TOEFL ITP pre試験・組織実習室），10月2日（水）～12月18日（水）（Ⅱ時限），1月8日（水）～1月22日（水）（Ⅱ時限）…医学部第一講義室（1/15のみ第二講義室），IT室，2月5日（水）（Ⅰ，Ⅱ時限）（TOEFL ITP試験・組織実習室）：

- ① 講義
② 演習（SGD）
③ eラーニング

評 価：① TOEFL ITPの得点（6月，2月）及び授業への出席
② ポスター等の発表内容

2 年 次

スカラシップ・ベーシックプログラムの一環として「総合英語コミュニケーションA-3, 4」(スカラシップ・ベーシック2単位, 必修), 専門連携英語(1単位, 必修)を行う。

基礎医学の授業を, 英語教科書を利用して実施できるような準備教育(身体の名称と診療科名を中心に, 各診療科での基本的な医学英語の習得…スカラシップ・ベーシック2単位, 必修)を行う。

■ 総合英語コミュニケーションA-3 (医学英語教科書を読む) (スカラシップ・ベーシック2単位, 必修)

担当教員: 押味貴之

目 標: ① 医学用語の構造を理解できる
② スキミングを用いた読解ができる

方 略: (4月10日(水)Ⅲ時限…第一講義室):

- ① 講義
- ② 演習(SGD)

評 価: (2月5日(水)Ⅲ時限…組織実習室): 試験(医学英語教科書解釈)

■ 総合英語コミュニケーションA-4 (医学英語論文の読み方Ⅱ) (スカラシップ・ベーシック2単位, 必修)

担当教員: 押味貴之, ジェネット・デニソン, 山内かづ代

目 標: ① 医学英語論文の方法と結果を読解できる
② 統計で用いられる基本語彙を理解できる
③ 簡単な医学英語文書の概要を英語で口頭報告することができる

方 略: (7月10日(水)Ⅲ, Ⅳ時限…第一講義室):

- ① 講義, 演習(SGD)
- ② 専門連携英語(詳細は下記参照のこと)における演習

評 価: ① スカラシップ・プログラム・ベーシックにおける各教室での学生のパフォーマンス評価(グローバル・レーティング)
② 簡単な医学英語文書(ケース・レポート, 教科書等)の専門連携英語授業内における英語での口頭報告

総合英語コミュニケーションA-1～4全てパスすることでスカラシップ・ベーシックの単位が認定される

■ 専門連携英語(1単位, 必修)

担当教員: ジェネット・デニソン, ダニエル・サルチェイド, 山内かづ代, 田邊政裕

目 標: ① 生命科学, 基礎・臨床医学に関連性の深い英語教材に親しみ, 医学・医療の国際化に対応できる医学英語の運用能力の基礎を身につけ, 特に「読む」「聞く」「話す」「書く」の高い実践能力を修得する。
② 英語による医療面接の基礎(医師-患者インタビュー)を理解できる
③ 医学英語のリスニングトレーニング方法を理解し, 実践できる

方 略: (4月10日(水)Ⅱ時限(病院第一講堂), 4月17日(水)Ⅱ時限, 4月24日(水)～6月26日(水)Ⅲ時限, 7月3日(水)Ⅱ時限, 7月17日(水)Ⅲ時限, 7月19日(金)Ⅰ時限):

- ① 医療面接の基礎を英語で実践する(スキルズセンターまたは医学部)
- ② 簡単な医学英語文書の口頭報告演習(同上)
- ③ eラーニング(IT室)

7月10日は目標③に関する授業が実施され、以下の担当教員、方略・評価で行われる。

担当教員：押味貴之， エリック・ジェーゴ

方略・評価：(7月10日(水) I, II 時限…第一講義室)：リスニング・テスト

専門連携英語評価：

- ① リスニング・テスト及びeラーニングシステムのテスト
- ② 2年次(1月末まで)のTOEFL得点(2013年度入学者から)及び授業への出席
- ①及び②をパスすることで単位が認定される

3 年 次

基礎医学授業は英語教科書で予習することを前提に授業を運営する。基礎・臨床医学の授業とリンクした医学用語の習得をスカラシップ・アプライドプログラム（4.5単位、必修）の一環として総合英語コミュニケーション B-1（「医学英語論文の読み方Ⅲ」2コマ）、B-2を実施する。

■ 総合英語コミュニケーション B-1（医学英語論文の読み方Ⅲ）（スカラシップ・アプライド4.5単位、必修）

担当教員：押味貴之

- 目 標：① 医学英語論文を診断・治療に応用することができる
② 医学英語論文の概要を口頭で報告することができる

方 略：（7月17日（水）Ⅲ、Ⅳ時限…第二講義室）：

- ① 講義
- ② 演習（SGD）

評 価：（1月22日（水）Ⅰ、Ⅱ時限…第二講義室及び他3室）：

スカラシップ・プログラム・アプライドの一環としての試験（医学英語論文の概要を1～3名で英語で口頭発表*し、質疑に応答する）

*口頭発表：各研究室、診療科で抄読した医学英語論文の背景、方法・結果、考察をグループで分担して英語で口頭発表し（1名あたり3分）、その後英語で質疑に応答する（5分）。4室に分かれて教員が1名ずつ担当し、プレゼンを進行する

担当教員：押味貴之、他3名

■ 総合英語コミュニケーション B-2（スカラシップ・アプライド4.5単位、必修）

医学英語論文の読み方Ⅲを実践すると共に実生活での英語コミュニケーションに必要な「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に向上させる。

担当教員：ジェネット・デニソン、山内かづ代

- 目 標：英語で「読む」「聞く」「話す」「書く」ことを高いレベルで達成できる

方 略：（9月2日（月）～12月16日（月）、1月6日（月）～1月27日（月）Ⅲ時限…第二講義室）：

- ① 講義
- ② 医学英語論文発表演習（SGD）
- ③ eラーニング

評 価：3年次（1月末まで）のTOEFL得点（2013年度入学者から）及び授業への出席

総合英語コミュニケーション B-1 及び 2 をパスすることで単位が認定される。

4 年 次

臨床医学授業は英語教科書で予習することを前提に授業を運営する。模擬患者に対する英語での医療面接，症例プレゼンテーション，診療録作成演習（2コマ，臨床医学総論の一部，必修）。

■ 「臨床入門（メディカル・インタビュー）」（臨床医学総論6単位，必修）

担当教員：押味貴之，エリック・ジェーゴ，ダニエル・サルチェイド

- 目 標：① 医療面接での基本英語表現を使うことができる
② 英語による症例プレゼンテーションを行うことができる
③ 診療録で用いる基本英語表現を理解できる

方 略：（12月4日（水）Ⅲ，Ⅳ時限…第三講義室）：

- ① 講義
② 演習

評 価：医学英語OSCE

5 年 次

模擬患者に対する英語での医療面接，症例プレゼンテーション，診療録作成演習（医学英語ワークショップ，選択）

■ 医学英語ワークショップ（選択）

担当教員：押味貴之，エリック・ジェーゴ，ダニエル・サルチェイド

目 標：① 医療面接での基本英語表現を使うことができる
② 英語による症例プレゼンテーションを行うことができる
③ 診療録で用いる基本英語表現を理解できる

方 略：（4コマ，講師3名，8月31日（土）…第一講義室）：

- ① 講義
- ② 演習

評 価：OSCE（この評価を留学資格の参考とする）

備 考：日々の臨床実習において，Up To Date等の医学英語情報を多用するクリニカル・クラークシップを実践すること

6 年 次

患者に対する英語での医療面接，身体診察，症例プレゼンテーション等（海外大学におけるクランク・シップ，選択）

■ クリニカル・クランクシップ（海外大学におけるクランク・シップ）（選択）

目 標：海外大学（米国，韓国等）でのクリニカル・クランクシップを实践できる

評 価：実施大学における指導医評価（6年次の本学における評価に反映される）

1 年次スケジュール

	4月1日(月)	4月2日(火)	4月3日(水)	4月4日(木)	4月5日(金)	4月8日(月)	4月9日(火)	4月10日(水)	4月11日(木)	4月12日(金)
I								導入TUT		
II								導入TUT		
III								I P E (救急)		
IV								I P E (救急)		
V								I P E (救急)		

	4月15日(月)	4月16日(火)	4月17日(水)	4月18日(木)	4月19日(金)	4月22日(月)	4月23日(火)	4月24日(水)	4月25日(木)	4月26日(金)
I			導入TUT					導入TUT (情報)		
II			導入TUT					導入TUT (情報)		
III			導入TUT (情報)					I P E		
IV			導入TUT (情報)					I P E		
V			IPE(救急) 5～6限							

	4月29日(月)	4月30日(火)	5月1日(水)	5月2日(木)	5月3日(金)	5月6日(月)	5月7日(火)	5月8日(水)	5月9日(木)	5月10日(金)
I	昭和の日		導入TUT (図書館)		憲法記念日	振替休日		導入TUT		
II			導入TUT (図書館)					導入TUT		
III			I P E					I P E		
IV			I P E					I P E		
V										

	5月13日(月)	5月14日(火)	5月15日(水)	5月16日(木)	5月17日(金)	5月20日(月)	5月21日(火)	5月22日(水)	5月23日(木)	5月24日(金)
I			導入TUT					導入TUT		
II			導入TUT					導入TUT		
III			I P E					I P E		
IV			I P E					I P E		
V								I P E		

	5月27日(月)	5月28日(火)	5月29日(水)	5月30日(木)	5月31日(金)	6月3日(月)	6月4日(火)	6月5日(水)	6月6日(木)	6月7日(金)
I			導入TUT					スカラシップ ガイダンス		
II			導入TUT					スカラシップ ガイダンス		
III			I P E					I P E		
IV			I P E					I P E		
V			I P E							

	6月10日(月)	6月11日(火)	6月12日(水)	6月13日(木)	6月14日(金)	6月17日(月)	6月18日(火)	6月19日(水)	6月20日(木)	6月21日(金)
I			総合英語A1					総合英語A2 1		
II			総合英語A1					総合英語A2 2		
III			I P E					I P E		
IV			I P E					I P E		
V										

【I時限】 8：50～10：20 【II時限】 10：30～12：00 【III時限】 12：50～14：20 【IV時限】 14：30～16：00 【V時限】 16：10～17：40

	6月24日(月)	6月25日(火)	6月26日(水)	6月27日(木)	6月28日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	7月1日(月)	7月2日(火)	7月3日(水)	7月4日(木)	7月5日(金)

	7月8日(月)	7月9日(火)	7月10日(水)	7月11日(木)	7月12日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	7月15日(月)	7月16日(火)	7月17日(水)	7月18日(木)	7月19日(金)
	海の日				

	7月22日(月)	7月23日(火)	7月24日(水)	7月25日(木)	7月26日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	7月29日(月)	7月30日(火)	7月31日(水)	8月1日(木)	8月2日(金)

	8月5日(月)	8月6日(火)	8月7日(水)	8月8日(木)	8月9日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	8月12日(月)	8月13日(火)	8月14日(水)	8月15日(木)	8月16日(金)

	8月19日(月)	8月20日(火)	8月21日(水)	8月22日(木)	8月23日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	8月26日(月)	8月27日(火)	8月28日(水)	8月29日(木)	8月30日(金)

	9月2日(月)	9月3日(火)	9月4日(水)	9月5日(木)	9月6日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	9月9日(月)	9月10日(火)	9月11日(水)	9月12日(木)	9月13日(金)

【I時限】 8：50～10：20 【II時限】 10：30～12：00 【III時限】 12：50～14：20 【IV時限】 14：30～16：00 【V時限】 16：10～17：40

	9月16日(月)	9月17日(火)	9月18日(水)	9月19日(木)	9月20日(金)
I					
II					
III	敬老の日				
IV					
V					

	9月23日(月)	9月24日(火)	9月25日(水)	9月26日(木)	9月27日(金)
I					
II					
III	秋分の日				
IV					
V					

	9月30日(月)	10月1日(火)	10月2日(水)	10月3日(木)	10月4日(金)
I					
II			総合英語A2 3		
III			情報処理 (亥鼻)		
IV					
V		スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ

	10月7日(月)	10月8日(火)	10月9日(水)	10月10日(木)	10月11日(金)
I					
II			総合英語A2 4		
III			情報処理 (亥鼻)		
IV					
V	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ

	10月14日(月)	10月15日(火)	10月16日(水)	10月17日(木)	10月18日(金)
I					
II			総合英語A2 5		
III	体育の日		情報処理 (亥鼻)		
IV					
V		スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ

	10月21日(月)	10月22日(火)	10月23日(水)	10月24日(木)	10月25日(金)
I					
II			総合英語A2 6		
III			情報処理 (亥鼻)		
IV					
V	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ

	10月28日(月)	10月29日(火)	10月30日(水)	10月31日(木)	11月1日(金)
I					
II			総合英語A2 7		
III			情報処理 (亥鼻)	大学祭準備	大学祭準備
IV					
V	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ		

	11月4日(月)	11月5日(火)	11月6日(水)	11月7日(木)	11月8日(金)
I					
II			総合英語A2 8		
III	振替休日		情報処理 (亥鼻)		
IV	大学祭片付				
V		スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ

	11月11日(月)	11月12日(火)	11月13日(水)	11月14日(木)	11月15日(金)
I					
II			総合英語A2 9		
III			情報処理 (亥鼻)		
IV					
V	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ

	11月18日(月)	11月19日(火)	11月20日(水)	11月21日(木)	11月22日(金)
I					
II			総合英語A2 10		
III			情報処理 (亥鼻)		
IV					
V	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ

	11月25日(月)	11月26日(火)	11月27日(水)	11月28日(木)	11月29日(金)
I					
II			総合英語A2 11		
III			情報処理 (亥鼻)		
IV					
V	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ

	12月2日(月)	12月3日(火)	12月4日(水)	12月5日(木)	12月6日(金)
I					
II			総合英語A2 12		
III			情報処理 (亥鼻)		
IV					
V	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ	スカラ シップ

【I時限】 8：50～10：20 【II時限】 10：30～12：00 【III時限】 12：50～14：20 【IV時限】 14：30～16：00 【V時限】 16：10～17：40

	12月9日(月)	12月10日(火)	12月11日(水)	12月12日(木)	12月13日(金)	12月16日(月)	12月17日(火)	12月18日(水)	12月19日(木)	12月20日(金)
I										
II			総合英語A2 13					総合英語A2 14		
III			情報処理 (亥鼻)					情報処理 (亥鼻)		
IV										
V	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ

H26

	12月23日(月)	12月24日(火)	12月25日(水)	12月26日(木)	12月27日(金)	12月30日(月)	12月31日(火)	1月1日(水)	1月2日(木)	1月3日(金)
I										
II										
III	天皇誕生日							元 日		
IV										
V										

	1月6日(月)	1月7日(火)	1月8日(水)	1月9日(木)	1月10日(金)	1月13日(月)	1月14日(火)	1月15日(水)	1月16日(木)	1月17日(金)
I										
II			総合英語A2 15					総合英語A2 16		
III			情報処理 (亥鼻)			成人の日		情報処理 (亥鼻)		センター 試験前日
IV										
V	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	

	1月20日(月)	1月21日(火)	1月22日(水)	1月23日(木)	1月24日(金)	1月27日(月)	1月28日(火)	1月29日(水)	1月30日(木)	1月31日(金)
I										
II			総合英語A2 17							
III			情報処理 (亥鼻)							
IV										
V	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ		スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ

	2月3日(月)	2月4日(火)	2月5日(水)	2月6日(木)	2月7日(金)	2月10日(月)	2月11日(火)	2月12日(水)	2月13日(木)	2月14日(金)
I			総合英語A2 18							
II			総合英語A2 19							
III							建国記念日			
IV										
V	スカラ- シ ッ プ	スカラ- シ ッ プ								

	2月17日(月)	2月18日(火)	2月19日(水)	2月20日(木)	2月21日(金)	2月24日(月)	2月25日(火)	2月26日(水)	2月27日(木)	2月28日(金)
I										
II										
III						前期日程 前	前期日程	前期日程		
IV					最終講義					
V										

【I時限】 8：50～10：20 【II時限】 10：30～12：00 【III時限】 12：50～14：20 【IV時限】 14：30～16：00 【V時限】 16：10～17：40

	3月3日(月)	3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	3月10日(月)	3月11日(火)	3月12日(水)	3月13日(木)	3月14日(金)
		後期日程 前	後期日程	後期日程	

	3月17日(月)	3月18日(火)	3月19日(水)	3月20日(木)	3月21日(金)
I					春分の日
II					
III					
IV					
V					

	3月24日(月)	3月25日(火)	3月26日(水)	3月27日(木)	3月28日(金)

	3月31日(月)				
I					
II					
III					
IV					
V					

【I時限】 8：50～10：20 【II時限】 10：30～12：00 【III時限】 12：50～14：20 【IV時限】 14：30～16：00 【V時限】 16：10～17：40

